



# 週間情報



No.2503

発行日 平成25年1月22日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

## 両会の動き

### ◆ 全国消防長会技術委員会第2回常任委員会の開催

#### 全国消防長会技術委員会

平成25年1月17日（木）、広島県福山市（福山ニューキャッスルホテル）において、全国消防長会技術委員会第2回常任委員会を開催しました。

委員会開催前に、18年前の1月17日に発生した阪神・淡路大震災及び平成23年3月に発生した東日本大震災で犠牲となられた方々へ黙祷を捧げました。

会議における報告事項、議案審議等については、次のとおりです。

#### 【報告事項】

消防車両及び装備品の不具合等に係る情報の取扱いについて

#### 【議案審議】

- 1 救急車の車両改良等に関する要望書について
- 2 平成25年度第2回常任委員会の開催日程等について
- 3 第92回全国消防長会技術委員会の開催地について
- 4 第93回全国消防長会技術委員会の開催支部について

#### 【情報交換】

消防・救急無線のデジタル化への移行に伴う消防団への通信機器配備の考え方について

#### 【情報提供】

- 1 地方公務員制度改革について
- 2 地方公務員の雇用と年金の接続について
- 3 消防長及び消防署長の任命資格について
- 4 木造三階建学校舎の建築基準法等に係る法制化に伴う必要な安全対策の確保に関する要望について
- 5 その他



【技術委員会常任理事会の様子】

◆ 平成25年度機関誌「全国消防長会報」・「ほのお」の実費購読のご案内

全国消防長会  
一般財団法人全国消防協会

標記の件につきましては、平成25年1月11日付け全消発第334号（以下「会報通知」という。）及び平成25年1月16日付け全消協第224号（以下「ほのお通知」という。）でお知らせしたところですが、実費購読の申し込みについて下記のとおり受け付けていますので、希望部数を消防本部（局）ごとにお取りまとめの上、電子メールにて申し込みください。

記

1 購読料（1年間分・専用ファイル付）

- (1) 「会報」 1,300円
- (2) 「ほのお」 1,000円

2 購読期間

平成25年度1年間（平成25年4月～平成26年3月）

3 申込み単位

消防本部（局）（個人からの直接申込みは不可）

4 申込み方法

「会報通知」及び「ほのお通知」の別添（省略）申込書に必要事項を入力の上、下記のメールアドレスあてに送信してください。

- (1) 「会報」 [kaiho@fcaj.gr.jp](mailto:kaiho@fcaj.gr.jp)
- (2) 「ほのお」 [honoo@ffaj-shobo.or.jp](mailto:honoo@ffaj-shobo.or.jp)

5 申込み締切日

- (1) 「会報」 平成25年2月15日（金）
- (2) 「ほのお」 平成25年2月15日（金）

6 購読料支払い方法

申込み後に送付する請求書及び振込用紙により、各消防本部（局）でとりまとめた購読料を、一括で振込みをお願いします。

7 その他

申込み後の購読中止（購読料の返金）はできません。



【会報の見本（平成24年12月第753号）】



【ほのおの見本（2012年12月号）】

## ◆ 平成25年春の火災予防運動用ポスターの配付

一般財団法人全国消防協会では、財団法人JKAより「競輪公益資金」の補助を受け、平成25年春の火災予防運動用ポスターを作成しました。

各消防本部（局）には、平成25年1月30日（水）付で発送しますのでご活用ください。

## 一般財団法人全国消防協会



【ポスターの見本】

## 消防本部の動き

### 行事

## ◆ 消防出初め式を挙行

泉佐野市消防本部では、平成25年1月6日（日）、泉佐野市役所及びその周辺で平成25年消防出初め式を挙行了しました。

この出初め式には、消防職・団員のほか、少年消防クラブ員、幼年消防クラブ員、管内事業所の不二製油株式会社自衛消防隊、新関西国際空港株式会社自衛消防隊など、約610名、消防車等20台が参加しました。

開式では、消防車両の入場に続き、消防本部、消防団、民間自衛消防隊の各徒歩部隊に続き、少年・幼年消防クラブ員の子どもたちが可愛い笑顔とともに行進し、多くの見学者に火災予防を呼びかけました。

また、市長の式辞後、市庁舎等を利用した救助訓練や昨年の大阪府消防操法訓練大会に出場し、優秀な成績を修めた泉佐野市消防団日根野分団による小型ポンプ操法の披露などを行い、最後に消防車両による市章放水などの一斉放水を行い、出初め式を締めくくりました。

## 泉佐野市消防本部（大阪）



【市章放水の様子】

## 訓練・演習

### ◆ 水難救助合同訓練を実施

#### 湖南広域消防局（滋賀）

湖南広域消防局では、平成24年12月5日（水）、琵琶湖（守山市）において、隣接する甲賀広域行政組合消防本部と合同水難救助訓練を実施しました。

この訓練は、河川やダム等の水難事故や広域的な水害に備えて、滋賀県内南ブロック消防本部間の連携・強化と相互の技術向上を目的に実施したもので、基本的な潜水から水中検索まで一連の訓練を実施しました。

当日は水温も低く厳しい環境下での訓練となりましたが、両本部の水難救助隊員が協力・連携し有意義な訓練となりました。



【水難救助合同訓練の様子】

### ◆ 合同山岳救助訓練の実施

#### 豊川市消防本部（愛知）

豊川市消防本部では、平成24年12月26日（水）、豊川市、新城市及び岡崎市の境界にまたがる本宮山（標高789m）において、新城市消防本部と合同で山岳救助訓練を実施しました。

この訓練は、近年、中高年の登山ブームにより本宮山でも登山客が増加しているなかで、「登山客が登山中に転倒し負傷、動けなくなったため携帯電話で119番通報した」という想定で実施し、さらに付加想定として「途中で携帯電話の電池が切れる」という内容を加え、より実践に近い形での訓練としました。

山中では、場所によって消防無線が通じにくい箇所があり、訓練に参加した隊員たちは、いかに情報を共有することが大切であるかを認識するとともに、山中という広範囲での要救助者を検索時の消防本部間どうしの連携や連絡の重要性を再認識することができました。



【活動方針の検討の様子】



【要救助者を救出の様子】

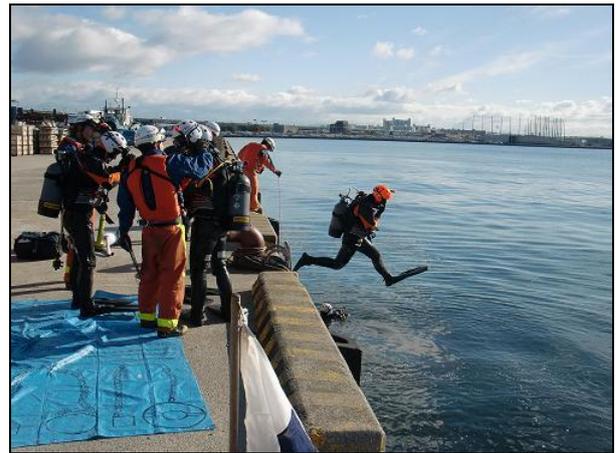
## ◆ 高度救助隊による水難救助訓練の実施

西宮市消防局（兵庫）

西宮市消防局では、平成25年1月4日（金）、市内海域で高度救助隊による水難救助訓練を実施しました。

訓練は、「岸壁から釣り人が転落した」の想定により、平行検索及び環状検索にて水中検索訓練を行いました。

以前は冬季においてもウェットスーツでの潜水活動でしたが、消防庁から、消防組織法第50条に基づき、新規配備されたドライスーツを着装することで、低水温下という厳しい環境であっても隊員の負担が軽減され、効果的な潜水救助活動が行えるようになりました。



【水難救助訓練の様子】

## ◆ ホテル火災を想定した地域防災訓練を実施

### 安達地方広域行政組合消防本部（福島）

安達地方広域行政組合消防本部北消防署では、平成24年12月12日（水）、岳温泉観光協会、地元二本松市消防団地区隊及び地区住民の協力により二本松市岳温泉地内の宿泊施設において、「岳温泉防災訓練」を実施しました。

この訓練は、毎年、災害発生時に地域住民が相互に協力し、その被害を最小限にとどめることにより住民の安全確保を目的に行っている岳温泉地区の防災訓練であり、火災が発生したことを想定し、初期対応から各団体の連携に至るまでの態勢の確立と各部隊の迅速な活動と運用等を確認するとともに、防災意識の高揚を図るため行っています。

訓練内容は、「宿泊施設からの出火」を想定し、「旅館、ホテルにおける夜間の防火管理体制指導マニュアル」を用いた初動訓練、消防隊による逃げ遅れ者の救出訓練、消防団と消防隊の消火活動等の連携、近隣住民及び近隣宿泊施設の避難誘導などの連携を行うことにより実災害時に被害を最小限に止められるよう実施しました。

東日本大震災が発生し、原子力災害による風評被害があるなか、地域の「絆」によって地域の復興へと力を注いでいますが、この防災訓練も、地域の「安全、安心」を守り、この地区に来られる旅行者が安心して宿泊できることを念頭に置き、マニュアルの確認や防火管理体制の検証を行うなど実施したものです。今後も色々な場面を想定した訓練を継続して行い、地域のため、職員の知識と技術の向上を図っていきます。



【岳温泉での地域防災訓練の様子】

## 国等の動き

### ◆ 平成25年度 調査技術会議開催日程のお知らせ及び事例発表者の募集について

標記について、次のとおり情報提供がありましたのでお知らせします。

#### 消防庁消防研究センター

消防研究センターでは、各消防本部における様々な火災調査及び危険物流出事故調査の事例を発表することにより、火災調査の進め方、危険物流出事故の行政反映方策などを共有化し、全国消防本部の実務能力の向上を図ることを目的として、下記のとおり平成25年度調査技術会議を実施いたします。

つきましては、火災調査及び危険物流出事故調査の発表事例を随時募集しておりますので、ご発表いただける方は、消防研究センター原因調査室までご連絡ください。

#### 【平成25年度調査技術会議 開催日程等】

開催地	会場	区分	開催日
東京会場	消防研究センター (東京都調布市深大寺東町 4-35-3)	危	平成25年5月23日(木)
		火	平成25年5月24日(金)
名古屋会場	名古屋国際会議場 (愛知県名古屋市熱田区熱田西町 1-1)		平成25年7月26日(金)
仙台会場	仙台市消防局 (宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町 2-15)		平成25年9月6日(金)
大阪会場	大阪市立こども文化センター (大阪府大阪市西区北堀江 4-2-9)	火	平成25年11月28日(木)
		危	平成25年11月29日(金)
福岡会場	福岡市民防災センター (福岡県福岡市早良区百道浜 1-3-3)		平成26年2月20日(木)

※ 区分 火：火災調査

危：危険物流出事故調査

無印：火災調査と危険物流出事故調査

※ 開催日程については、変更になる場合があります。

※ 参加者募集等の詳細については、別途通知いたします。(平成25年4月頃)

【問い合わせ先】消防研究センター

火災災害調査部 原因調査室

担当：桑原、佐藤

電話：0422-44-8331

FAX：0422-49-3763

E-mail: [kanshiki@fri.go.jp](mailto:kanshiki@fri.go.jp)

## ◆ 移動タンク貯蔵所等に対する立入検査結果について

移動タンク貯蔵所等に対する立入検査結果について（平成25年1月10日付け消防危第3号）が危険物保安室長より、各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに次のとおり通知がありましたのでお知らせします。

### 消防庁

移動タンク貯蔵所による危険物の移送及び車両による危険物の運搬の安全確保については、日頃から御努力いただき感謝申し上げます。

さて、平成24年10月3日付け消防危第224号により、平成24年11月1日から同年11月30日までの期間を中心に実施をお願いした移動タンク貯蔵所等に対する立入検査の実施結果について、別添1（省略）のとおり取りまとめましたので通知します。

これによりますと、移動タンク貯蔵所等における基準不適合等車両の割合は17.59%（前年17.68%）であり、昨年と比較して0.09ポイント減少したものの、依然高い水準にあります。

なかでも、移動タンク貯蔵所における立入検査の重点項目として挙げている定期点検に係る義務違反は1,296件（前年1,385件）であり、昨年と比較し89件減少したものの、他の項目に比べて非常に多く、憂慮される状況です。

従前から移動タンク貯蔵所に対する指導については、「移動タンク貯蔵所に係る消防法の一部改正等に伴う立入検査及び命令の運用について」（昭和61年12月26日付け消防危第120号）により御尽力いただいているところですが、今回の立入検査の結果を踏まえ、別記「危険物の移送等における保安確保のための留意事項」を考慮した指導をしていただくようお願いします。

都道府県消防防災主管部長におかれましては、貴都道府県内の市町村等に対してもこの旨周知していただくようお願いします。

また、この結果については、別添2（省略）のとおり公益社団法人全日本トラック協会、日本貨物運送協同組合連合会及び日本危険物物流団体連絡協議会にも通知し、注意喚起をしていますので参考として添付します。

なお、本通知は消防組織法（昭和22年法律第226号）第37条の規定に基づく助言として発出するものであることを申し添えます。

※ 全文は、消防庁ホームページ（[http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2501/t\\_index.html](http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2501/t_index.html)）に掲載されています。

【問い合わせ先】危険物保安室

危険物指導調査係

担当：鈴木（健）、高木

電話：03-5253-7524（直通）

FAX：03-5253-7534

◆ 消防車両及び装備品の不具合等に係る情報の取扱いについて

消防車両及び装備品の不具合等に係る情報の取扱いについて（平成25年1月11日付け消防・救急課事務連絡）が消防・救急課から、全国消防長会事業部事業企画課、全国消防長会技術委員会事務局あてに次のとおり事務連絡がありましたのでお知らせします。

消防庁

消防車両及び装備品の不具合等に係る情報の取扱いにつきましては、平成24年7月26日に開催されました第90回全国消防長会技術委員会で議案審議が行われ、消防庁に対して、より速やかに、より詳細な情報の共有やその手法等の検討について要望されたところです。

その後、消防庁としましては、財団法人日本消防設備安全センター防災製品PLセンターPL事故情報室と検討を行い、より詳細な情報の提供として、財団法人日本消防設備安全センターのホームページで公表されています「最近の防災製品事故情報」の中で、不具合事案に関する対応の進捗状況を確認できるよう、様式の変更を行いましたので情報提供いたします。

なお、消防庁といたしましても、引き続き事案の緊急性等から判断し、迅速な事故要因の究明と同種・同類の事故防止を図るため必要に応じて全国の消防本部への情報提供を行ってまいります。

最近の防災製品事故情報（防災製品PLセンター速報）

防災製品PLセンターが収集した消防隊用車両・装備品に係る最新の事故情報（平成24年1月31日から平成24年12月7日までの受付分）をお知らせします。

ここでの情報は速報情報ですので、今後の追加情報、事故調査の進展等により内容に変更があり得ます。また、製品事故でないことが判明した場合には、情報を削除することがあります。

受付日 受付番号	製品名	発生日 発時刻	発生場所 都道府県名	内容	対応経過	備考
2012/12/7 No. 376	自動心臓マッサージ器	2012/11/29	宮崎県	新たに追加を行った項目 マッサージ器の	<input checked="" type="checkbox"/> 原因調査中 <input checked="" type="checkbox"/> メーカー等により該消防本部等に連絡し対応中 <input type="checkbox"/> 完了	物的被害：自動心臓マッサージ器 人的被害：無
2012/12/6 No. 375	NTレスキューバッグ			訓練において車両1庫の1輪をジャッキアップしたとの時点で「バックの変形が認め	<input checked="" type="checkbox"/> 原因調査中 <input type="checkbox"/> メーカー等により該消防本部等に連絡し対応中 <input type="checkbox"/> 完了	物的被害：レスキューバッグ 人的被害：無
2012/11/26 No. 374	先端屈折型30mはしご付消防自動車			ネット取付け作業のため	<input type="checkbox"/> 原因調査中 <input checked="" type="checkbox"/> メーカー等により該消防本部等に連絡し対応中 <input type="checkbox"/> 完了	物的被害：バスケット 人的被害：無
2012/11/20 No. 373	食道閉鎖式エアウェイ			ブに4号サ	<input checked="" type="checkbox"/> 原因調査中 <input checked="" type="checkbox"/> メーカー等により該消防本部等に連絡し対応中 <input type="checkbox"/> 完了	物的被害：食道閉鎖式エアウェイ 人的被害：無
2012/11/19 No. 372	高規格救急自動車			音により、ブ困難となつて出番	<input type="checkbox"/> 原因調査中 <input checked="" type="checkbox"/> メーカー等により該消防本部等に連絡し対応中 <input type="checkbox"/> 完了	物的被害：真空信力装置 人的被害：無
2012/11/16 No. 371	海水利用型消防水利システム（ホース巻き上	2012/11/20	東京都	ホース巻き上げ装置の組み立て不良により、ゴムローラと側壁フレームが接触し、ゴムローラが摩耗	<input type="checkbox"/> 原因調査中 <input type="checkbox"/> メーカー等により該消防本部等に	物的被害：ホース巻き上げ装置

対応経過について

原因調査中  
メーカー等による原因調査を行っている状況。

メーカー等により該消防本部等に連絡し対応中  
不具合が発生した車両・装備品及び同一の車両・装備品で点検や改修等の何らかの対応が必要な場合に、該消防本部に対して連絡、対応を行っている状況。

完了  
不具合事案に対するメーカー等による対応が完了したものの。

【問い合わせ先】 消防・救急課  
 担当：今井係長、橋本事務官  
 電話：03-5253-7522  
 FAX：03-5253-7532  
 E-mail：[keibou@ml.soumu.go.jp](mailto:keibou@ml.soumu.go.jp)

## ◆ 第17回防災まちづくり大賞受賞団体の決定

標記について、平成25年1月16日に次のとおり報道発表されましたのでお知らせします。

### 消防庁

「防災まちづくり大賞」は、地方公共団体や自主防災組織等における防災に関する優れた取組、工夫・アイデア等、防災に関する幅広い視点からの効果的な取組を推奨し、もって地方公共団体等における災害に強い安心・安全なまちづくりの一層の推進に資することを目的として実施しています。

この度、「第17回防災まちづくり大賞」について受賞団体を決定しました。

受賞団体は、14団体で表彰部門別内訳は次のとおりです。

総務大臣賞	3団体
消防庁長官賞	4団体
(財)消防科学総合センター理事長賞	5団体
(財)日本防火・危機管理促進協会理事長賞	2団体
計	14団体

※受賞団体名等は、別添（省略）の受賞団体一覧表に記載されています。

（表彰式の日程）

日時：平成25年1月23日（水）15時30分から17時00分まで

場所：中央合同庁舎2号館 総務省講堂（地下2階）

〒100-8927 東京都千代田区霞が関2-1-2

※ 全文は、消防庁ホームページ

([http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h25/2501/250116\\_1houdou/01\\_houdoushiryou.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h25/2501/250116_1houdou/01_houdoushiryou.pdf))

に掲載されています。

#### 【問い合わせ先】

国民保護・防災部防災課

担当：浦田、中村

電話：03-5253-7525

FAX：03-5253-7535

予防課

担当：児玉、柳瀬

電話：03-5253-7523

FAX：03-5253-7533

## ◆ 「第59回文化財防火デー」の実施

標記について、平成25年1月17日に次のとおり報道発表されましたのでお知らせします。

### 消防庁

昭和24年1月26日に、法隆寺金堂から出火した火災によって、世界的な至宝と言われた金堂の壁十二面に描かれた仏画の大半が焼損しました。

我が国の文化財建造物は大多数が木造であり、美術工芸品も木、紙、布等燃えやすい材質により造られているものが多く、常に火災による焼損の危険にさらされています。

このような被害から文化財を守るとともに、国民一般の文化財愛護に関する意識の高揚を図るため、昭和30年から、消防庁と文化庁の共唱により、法隆寺金堂が焼損した日である1月26日を「文化財防火デー」と定めて、文化財建造物等における防火運動を全国で展開しています。

これにともない、各地で文化財関係者、消防関係者、教育関係者及び地域住民が協力して、消防訓練が実施されます。

(文化庁と同時発表)

#### 1. 消防庁長官が視察する文化財防火デーにおける消防訓練

##### ① 浅草寺（東京都台東区）

日時：平成25年1月23日（水） 9時00分から9時55分まで

訓練実施消防機関：東京消防庁

視察者：消防庁長官・文化庁次長

##### ② 善導寺（福岡県久留米市）

日時：平成25年1月26日（土） 14時00分から14時20分まで

訓練実施消防機関：久留米広域消防本部

視察者：消防庁長官・文化庁長官

#### 2. 参考資料

① 第59回文化財防火デー実施要項（別添1（省略））

② 国宝・重要文化財件数（別添2（省略））

※ 全文は、消防庁ホームページ

[http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h25/2501/250117\\_1houdou/01\\_houdoushiryou.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h25/2501/250117_1houdou/01_houdoushiryou.pdf)

に掲載されています。

【問い合わせ先】 予防課

担 当：椎名課長補佐・児玉係長

電 話：03-5253-7523

FAX：03-5253-7533

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

**週間情報への投稿は企画課へ！**

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : weekly@fcj.gr.jp